

知られざる日本のペニシリン開発

登録番号	第 00277 号		
登録年月日	令和元年9月10日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	碧素製造許可申請書
所在地	東京都中央区
	明治ホールディングス株式会社
所有者 (管理者)	明治ホールディングス株式会社
製作者(社)	明治産業株式会社[1943年12月15日～1947年4月29日の間の明治製菓株式会社の社名] (現:Meiji Seika ファルマ株式会社)
製作年	1945年
初出年	
選定理由	ペニシリンは1928年に英国で発見され、多くの感染症に効く奇跡の薬として知られている。第二次世界大戦中も使用され多くの命を救ったが、当時ペニシリンの実用化に成功したのは英米を除くと日本だけであった。ドイツのキーゼ報告を頼りに、医、理、工、薬、農学の研究者によるペニシリン研究委員会を結成し、独学で1年以内にペニシリンの大量生産を開始するという一大成果を成し遂げたとされる。しかし当時の製造に関する資料はほとんど残っておらず、昭和20年4月の日付がある本資料は、化学的に不安定なペニシリン(碧素)の開発に成功し、戦時中に実際に製造しようとした事実を伝える貴重な資料として重要である。
登録基準	一ーロ (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの)

公開・非公開	非公開
--------	-----

写真	
----	--

その他参考となるべき事項	
--------------	--